



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)

11・3  
北九州集会

## 戦争するな、戦争準備もするな！

憲法公布から79年となる11月3日、平和をあきらめない北九州ネットは、「戦争するな、戦争準備もするな」をスローガンに、勝山公園で市民集会を開催し、200人が参加しました。

北九州の歌声の皆さんの平和の歌声が開会した集会で、開会の挨拶を行った平和ネット代表の前田憲徳弁護士は、自民・維新の会の高市政権の下で、大軍拡、改憲の動きが加速する可能性を指摘し、「徹底した議論で憲法9条に基づく平和外交を作っていこう」と呼びかけました。

来賓の挨拶に共産党の田村貴昭衆議院議員と市議団が参加し、田村議員は、「高市政権が発足直後から、アメリカ言いなりの大軍拡を進めており、正面から闘う」と表明、「戦後80年間、戦争をしなかった最大の礎は憲法9条だ」、改憲勢力の策動を断固として許さず、闘おうと力説しました。

集会では、社民党の代表挨拶、「戦争を止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」のメンバーがスピーチしました。

集会後に小倉駅に向けてデモ行進を行い、「改憲させない」とコールしました。



参加者全員で「団結ガンバロー」。



情勢報告する田村衆議院議員



講演する井下弁護士

北九州女性の会が学習会

### ジェンダー平等が進む国づくり必要

11月8日(土)、平和とくらしを守る北九州女性の会は、「平和・女性と戦争～なぜ進まないのかジェンダー平等の社会～これからの私たちの課題」について、井下顕弁護士(六本松総合法律事務所)を講師に学習会を開きました。参加者は男性も含めて41名でした。

井下弁護士は、今は「戦争する国」づくりから『戦争を必要とする国』になっているから、その国づくりにジェンダー平等は必要ない！だから進まない」と話されました。

参加者の感想文には、先生の話がとてもわかりやすく参加してよかったと沢山の声があり、これからも会として学習や行動で運動を広げていきたいと思います。



挨拶する荒牧座長

9条の会・北九州憲法ネット  
第22回総会と記念講演

### 「戦争しない国へ、活動充実

11月15日(土)、13:30～15:30、北九州生涯学習総合センター3階ホールで上記総会・記念講演が開かれました。

第1部の総会では、荒牧座長の開会挨拶後、富士本事務局長より、昨年度の活動報告と今年度の活動方針の提案がありました。主な活動目標は、

- ①「憲法連続講座」を更に充実させ、継続的に開催していく
- ②「北九州9条まつり」を今年度も5月3日に開催し、内容を充実させる
- ③ 憲法ネットニュースの定期発行と拡大に努め、SNSでの拡散を図ります

第2部の記念講演では、磯村英司九州国際大学法学部准教授が、「戦争する国にしないための中立国入門」と題して、熱心にわかりやすくお話くださいました。参加者からのたくさんの質問にも丁寧にお答えいただきました。

# 「聞こえの悩み」は認知症への一歩かも？

## 「高齢者補聴器購入助成制度の創設を求める会」が第二次署名スタート集会



決意表明する小倉北区民の会の岡本政明さん

11月9日、「高齢者補聴器購入助成制度の創設を求める会」は、第二次署名スタート集会を戸畑生涯学習センターで開催し、51名の参加者が新たな署名運動で助成制度を実現しようと決意を固めました。

開会の挨拶で代表委員の藤沢加代さんは、「母が年より臭いと言われるので、補聴器の装用をためらっている」との経験をし、自らも補聴器装用の経験を通じて、難聴が認知症の危険因子であることを知らせ、補聴器購入助成制度を実現させようと訴えました。

健和会の西中徳治理事長は、第一次署名を健和会も奮闘したが、必ず実現するために、耳鼻咽喉科医院への働きかけや、個人署名に全力をあげるとメッセージを寄せました。

### 補助制度創設を拒む北九州市

代表委員の石田康高さんは、昨年2月23日の結成総会から今日までの署名運動の経過と到達、市議会の審議で昨年の署名は廃案となり、今年2月の緊急団体署名は継続審査となっているおり、市当局は「補聴器が認知症予防に役立つ根拠・エビデンスを国が研究中」として、補助制度の創設を拒んでいる状況を変えるため、第二次署名に取り組む方針を提案しました。

特に学会を中心に、「難聴は認知症の最も大きな危険因子である」と指摘され、同時に「よい聞こえ」が認知症予防につながる「補聴器の装用」を提起していることや、補聴器購入の補助を始めた自治体が488に広がり、この4年間で13倍になっていると紹介。

北九州で必ず実現するために、来年の6月市議会への提出を目指し、3万筆の個人署名、30団体の医療機関署名を提案しました。

### 多くの仲間と意思統一

新婦人の能美はるみさん、年金者組合の仲築間省三さん、健和会の永末真也さん、共産党の伊藤淳一市議員、小倉北区民の会の岡本政明さんが、それぞれの立場から第二次署名の意義と運動成功の決意を述べ、「よい聞こえ」を生み出す補聴器は「人権」であると思いつきました。

閉会の挨拶で代表委員の河村智重子さんが行い、困難はあっても幅広い運動で補助制度を実現しようと呼びかけました。

参加  
案内

参加  
案内

## 子や孫を二度と戦争に 巻き込んでほしくない

—イスラエルのガザ攻撃のただ中で考える—



### ダニー・ネフセタイさん

1957年生まれ。イスラエル人の家具職人です。埼玉県皆野町で「木工房ナガリ家」を営んでいます。イスラエルには徴兵制があり、高校卒業後イスラエル空軍に入り、3年間兵役を務めました。そのうち、アジア諸国を放浪し、79年に日本を訪れ、以来45年間日本で生活しています。自らの育ちをふりかえり、歴史を独自の視点で深く掘り下げ、「平和をつくらう」と呼びかける講演に感動が広がっています。

ダニー・ネフセタイさんの著書

12月6日(土)・14:00~16:00

福岡県教育会館 福岡市地下鉄「箱崎宮前駅」1番口から徒歩2分  
福岡市東区馬出4丁目12-22

12月7日(日)・14:00~16:00

北九州市立商工貿易会館 モノレール目黒駅 徒歩1分  
北九州市小倉北区古船場町1-35

入場無料



●主催 教え子を再び戦場に送らない福岡県退職教職員の会  
会長・牧忠孝  
●連絡先 高瀬(090-1196-5408)

「教え子を再び戦場に送らない福岡県退職教職員の会」は、教え子を戦場に送った戦前の反省を忘れないと結成され、30年になります。「5・3憲法記念日」と「12・8太平洋戦争開戦の日」に、平和憲法を守ろう」と県内各地で訴えてきました。政府が軍事費を増大させ、戦闘機やミサイルを爆買いし、基地強化が進められる中、再び教え子を戦場に送ることにならないか、と私たちはこれまでに以上に危機感を覚えています。武力で平和はつくれません。このことを多くの人と共有したい、平和について一緒に考えてほしい、この思いでこの講演会を企画しました。

### 2025年 第3回 市民講座



## 子どもたちの未来のために！ 北九州市の教育を考える



とき 12月13日(土) 午後2時

ところ 男女参画センター 5F ムーブ大セミナー室  
資料代 200円 (小倉北区)

◆基調報告 ●学校現場の実態報告 中川喜久子(元小学校教師)  
報告 ●子どもの教育環境(学校ウォッチング)  
●学校給食の現状と運動

どなたでも  
参加できます

未来をつくるのは、いまの教育です。  
北九州市の子どもたちが、夢を描き、安心して学べる環境を整えるために、私たち大人ができることは何でしょうか？  
教育現場の声、保護者の思い、地域の力を結集し、よりよい教育のあり方を一緒に考える市民講座を開催します。ご参加をおまちしています。



主催 平和とくらしを守る北九州市民の会  
連絡先 北九州市小倉北区田町13-21 ☎093-592-5000

ホームページ  
QRコード

